

平成 22 年度 事業報告書

(平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

＊平成 22 年度、旧財団から引き継ぐ

1. 公益目的事業 1

1-1 オペラ公演

1-1-1 オペラ自主公演

東京二期会オペラ劇場『サロメ』リヒャルト・シュトラウス作曲

オランダ ネザーランド・オペラ及びスウェーデン エーテボリ・オペラとの共同制作

劇全 1 幕 字幕付原語＜ドイツ語＞上演

平成 23 年 2 月 22 日、23 日、25 日、26 日 東京文化会館大ホール

指揮:シュテファン・ゾルテス

演出:ペーター・コンヴィチュニー

管弦楽:東京都交響楽団

主催:公益財団法人東京二期会、社団法人日本演奏連盟

協賛:ブラザー工業株式会社、サクラ精機株式会社、
サクラファインテックジャパン株式会社

助成:平成 22 年度文化庁文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)
2011 都民芸術フェスティバル参加公演、財団法人朝日新聞文化財団

＜事業実績＞

今回の演出はオペラを現代社会の中で、活きたコミュニケーション手段とすることを意図している。

公演の2日目終演後には演出家自身によるアフタートークを行い、それをインターネットでライブ配信を行うなど、観客への新たなコミュニケーションを試みた。

その結果、作品を現代風に読み替えるのみではなく、普遍的な「愛」を多く聴衆に訴えることに成功した。一方、その過激な演出手法に拒否反応をする聴衆も多いが、このような事象こそ我が国のオペラ文化成熟を示すものである。新聞批評も多くが好意的で、計算尽くされた深い演出が理解された。また、音楽面では東京都交響楽団が至高のサウンドでオーケストラの最高表現を行い、演出に目が行きがちな本公演を根底から支えた。

入場者数：5,278 名 チケット販売枚数：4,493 枚

1-1-2 オペラ共催公演

共同制作公演『アイダ』ジュゼッペ・ヴェルディ作曲

オペラ全 4 幕 字幕付原語＜イタリア語＞上演

平成 23 年 3 月 5 日、6 日 びわ湖ホール大ホール

指揮:沼尻竜典

演出:栗國淳

管弦楽:京都市交響楽団

主催:公益財団法人東京二期会、財団法人びわ湖ホール、公益財団法人神奈川芸術文化財団、
財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団、谷桃子バレエ団

助成:平成 22 年度文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術共同制作公演)

＜事業実績＞

平成 23 年 3 月 21 日、22 日(神奈川県民ホール大ホール)で予定していた公演は、東日本大震災の影響による社会状況をかんがみ、公演を中止した。

本事業は、舞台芸術共同制作公演として、5 者の共同制作により上演した。その効果は、規模の大きさとバレエーションを含むグランドオペラであることから、単独では作品の本質を伝える本格的な上演が難しい作品であるが、今回は国際レベルの新しい舞台を創造できた。特に、谷桃子バレエ団が主催に参画したことで、ハイレベルのバレエーションが完成したこと、歌、合唱、演奏、踊りが一体となったヴェ

ルディのグランドオペラの神髄を伝える舞台を創造することができた。まさに劇場ホールと芸術制作団体がその持てる力を結集してこそ可能な観応えのある舞台を創造できた。ソリストは、日本人歌手のみでキャスティングされ、現在、実力トップクラスの東西の逸材を起用し、カバーキャストとして若手歌手を配し、歌手の育成教育の効果があつた。

入場者数：3,167 名 チケット販売枚数：2,950 枚

1-2 演奏会自主公演(1 公演)

二期会サロンコンサート(1 回)

平成 23 年 2 月 9 日

カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

<事業実績>

二期会会員と準会員の中から、オーディションにより選ばれた若手歌手 2 名によるコンサート。この回は女性を意識したテーマでオペラアリアから歌曲まで女性に拘わる曲を選曲し、成功裡に終了した。

入場者数：115 名 チケット販売枚数：114 枚

1-3 オペラ講座の開催(1 回)

「親子の邂逅に見る作曲家の心情！」

平成 23 年 3 月 29 日

カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

<事業実績>

3 月 11 日の震災の影響で、当初予定していた二期会会館からカワイコンサートサロンへ会場を移して行った。また公演当日は出演者による義援金を募った。プログラム内容は変更なく、オペラの名場面を取上げ、オペラの好奇心を満足させる講座であった。

入場者数：128 名 チケット販売枚数：150 枚

1-4 二期会通信の発行

「二期会通信」を 2 回(12 月 1 日、3 月 1 日)季刊として発行した。

<事業実績>

内容はオペラの宣伝と、チケット販売促進を目的に発行。1 回 2 万部を発行している。主に賛助会、愛好会、二期会会員、劇場、CD ショップ、音楽大学などに無料で配布している。

2. 公益目的事業 2

2-1 オペラ歌手の養成

2-1-1 二期会オペラ研修所(3 月 31 日現在、在籍数)

予 科:在籍数 72 名 基礎音楽表現、演技表現の修得を目的とする。

本 科: 同 81 名 より高度な音楽表現、演技表現の修得を目的とする。

マスタークラス:同 40 名 オペラ舞台上の総合表現力の修得を目的とする。

<事業実績>

この 4 カ月間は、修了及び入試に関する行事が中心だった。1 月 21～23 日まで修了アリア試験、2 月～3 月上旬まで各クラス修了試演会を行った。3 月中旬に修了および進級の判定を行い、予科 72 名、本科 81 名、マスター 40 名の修了を認定した。マスター修了生のうち上位 19 名を二期会正会員、その他 21 名と本科修了生 81 名を二期会準会員へ推薦した。来年度の研修生受験者数は 125 名。

2-1-2 第 87 回二期会オペラ研修所コンサート

平成 22 年 12 月 8 日(1 回)

北とぴあさくらホール

共催:財団法人北区文化振興財団、東京都北区

<事業実績>

予科、本科、マスタークラス在籍生の中から成績優秀者と、オーディションにより計 20 名が選ばれ、日頃の研修の成果を演奏した。また、北区文化振興財団との共催公演として、北区区民約 300 名を招待した。

出演者：大網かおり、楠田翔子、佐藤優子、清水多恵子、鈴木麻里子、鈴木美和子、田中絵里加、全詠玉、経塚果林、原璃菜子、前里亜夕美、三井清夏、森真奈美、松永知史、杉山由紀、宮澤彩子、鹿野浩史、新海康仁、高柳圭、日浦真矩

入場者数： 626 名 チケット販売枚数： 371 枚

2-1-3 インターン制度

自主公演1演目に対して、1～3 名をアンダースタディに採用し、オペラ歌手の実践教育を行う。

対象者はマスタークラス修了者、研修期間は 1 年間とする。

<事業実績>

インターン制度とは、研修所を修了した研修生の中から当法人が主催するオペラ公演にアンダースタディとして参加し、実践的なオペラ歌手を目指す。アンダースタディに選ばれると、コレペティ稽古を受けることができ、さらに舞台稽古では本役の代わりとして立つこともある。

研修演目『サロメ』：遠藤千寿子、門間信樹

3. 収益事業等

3-1 共益事業

3-1-1 会員・研究会・リサイタル公演(4 件)

平成 22 年 12 月 6 日	川本伸子ソプラノリサイタル	ヤマハホール
平成 23 年 1 月 16 日	宮本益光バリトンリサイタル	白寿ホール
3 月 20 日	野崎由美ソプラノリサイタル	東京オペラシティリサイタルホール
3 月 22 日	二期会ロシア・東欧オペラ研究会	東京文化会館小ホール

3-1-2 演奏会請負公演

心の東京革命推進協議会

「あいさつは魔法の力」(2 公演)

平成 23 年 1 月 15 日

1 月 22 日

板橋区仲宿いこいの家

武蔵野市立武蔵野第四小学校

<事業実績>

「あいさつ」について一緒に考えるための音楽劇。小学生を主人公として、友達や周囲の人たちとの関わりの中で、あいさつから始まる心と心のふれ合いの大切さを訴えた。

参加者数： 1 月 15 日／106 名、1 月 22 日／552 名

3-1-3 二期会会報の発行

「二期会会報」を 2 回(12 月 1 日、3 月 1 日)発行した。「二期会」内部の情報を掲載。主に幹事会の議事内容、会員動向、会の演奏活動、会のイベントを中心に掲載。1 回 2,700 部発行。二期会会員のみ無料配布する。

3-1-4 二期会会員異動状況

平成 23 年 3 月 31 日現在	二期会 正会員 1,996 名／準会員 534 名	計 2,530 名
	(増減 +40 名／ +25 名)	+65 名)
平成 22 年 3 月 31 日現在	二期会 正会員 1,956 名／準会員 509 名	計 2,465 名

4. 法人概要

4-1 理事会

・平成 22 年 12 月 21 日	常務理事の選定 平成 22 年度(12 月～3 月)事業計画承認の件 平成 22 年度(12 月～3 月)収支予算承認の件 評議員選定委員会運営細則承認の件 オペラ企画委員および委員長の選任 オペラ研修所企画委員および委員長の選任	可決 可決 可決 可決 可決 可決
・平成 23 年 2 月 12 日	平成 22 年度(4 月～11 月)事業報告承認の件 平成 22 年度(4 月～11 月)収支報告承認の件 評議員会招集の件 二期会会則変更案承認の件	可決 可決 可決 可決
・平成 23 年 3 月 29 日	平成 23 年度事業計画承認の件 平成 23 年度収支予算書等承認の件	可決 可決

4-2 評議員会

・平成 23 年 2 月 28 日	平成 22 年度(4 月～11 月)事業報告の説明 平成 22 年度(4 月～11 月)収支報告承認の件	報告 可決
-------------------	---	----------